

公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和4年度第5回理事会議事録

日時：令和4年9月21日（水）19時00分～21時00分

場所：都臨技事務所 オンラインWeb会議システム（Zoomミーティング）

議長：原田

議事録作成：府川

出席：

（都臨技事務所にて参加）7名

浄土、末永、神田、畑田、府川、高橋監事、佐野監事

以下の出席者は、Web会議システム「Zoomミーティング」により参加した。

（自宅より参加）13名

原田、杉岡、中村、米山、星野、加藤、竹澤、山方、飛知和、岩瀬、近藤、堀口、市川

（職場から参加）5名

相馬：勤務先 東京都板橋区大谷口上町30-1 日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部

浅野：勤務先 東京都足立区江北4-33-1 東京女子医科大学附属足立医療センター 検査科

平木：勤務先 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学病院 中央検査部

米谷：勤務先 東京都三鷹市下連雀5-4-1 杏林大学保健学部臨床検査学科

遠藤監事：勤務先 東京都千代田区神田神保町1-48 税理士法人 MY ユニット

計25名

欠席：三橋、山崎

議事の経過の要領およびその結果

定刻

東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web会議システムにより、出席者の音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

1. 議事録

- ・令和4年度第4回理事会議事録が承認された。
- ・2022年度第4回、第5回執行理事会議事録が承認された。

2. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・7月25日に第4回学術部会を開催した。
- ・生理研究班から、受益者負担実技講習会で実務委員の委任状を発行してほしいとの依頼があったが、各研究班の研修会の実務委員を幹事が務める場合は、各幹事へ委任状は期初に発行されているため、改めて委任状は発行しないことになった。今回は、幹事への委任状発行が遅れていたため、このような依頼があったが、現在では各所属施設への委任状提出は済んでいる。
- ・イベントペイの領収証変更について、イベント名が載せられるように変更した。
- ・研修会講師の突然のコロナ感染等を含めた体調不良で、急遽研修会が中止になった際の受講生への連絡手段について以下のように定めた。

1. 日臨技システムを利用した一斉メールでの告知
 2. 都臨技HP, LINEでの告知
 3. 研修会開始予定時刻のZoomを使用したスライドショーでの告知
- とし、2.についてはHP, LINE掲載指示要望書を使用して、広報委員会へ届け出る。

緊急の際には、班長から直接ラヴァーレへメール（c.c. 広報委員会）してもよい。

- ・臨床化学研究班の共催許可願いがなされた。9月28日開催、「脂質異常症と動脈硬化性疾患について」東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長 吉田 博 教授、積水化学株式会社のご講演。

(2) 編集委員会

- ・7月28日に第2回編集委員会を開催した。
- ・微生物の学術論文が遅れており、10月号に間に合わない可能性あり。
- ・70周年記念の投稿文が遅れている。
- ・10月号について、日本興業社でのコロナ感染発生等で連絡が取れないなどのトラブルがあり10月号の校正が停止している。1週間程度の遅れでの発行となるため、会員への発行の遅れ等のお詫びをHP, LINEで連絡を行う。

(3) 精度管理委員会

- ・6月28日に第3回精度管理委員会を開催した。

- ・新しい3次梱包(写真はGoogleドライブ参照)の見積もり依頼を行っており、昨年度より予算がどれくらいアップするのか次回以降報告する。
- ・2021年度精度管理の報告は、現在CD作成中である
- ・2021年度精度管理報告会は、9月1日～9月30日まで日臨技の事前申し込み受付の段階で、生涯教育の点数付与を予定している。昨年と同様に、設問解答8割以上で点数付与の予定。参加証は各自で印刷できるよう人力期間に猶予を設け10月中旬以降に印刷していただくようアナウンスする予定である。
- ・報告会開催がわかりにくいとの意見から、参加施設へ報告会開催についてのご案内メールを9月10日に送付した。
- ・第4回精度管理委員会は、精度管理調査の準備を兼ねて事務所とWebの合同開催とする。事務所の参加可能人数を確認中。
- ・精度管理調査試料の発送は10月18日であるが、前日準備を10月17日に日本大学病院で行う予定である。
- (4)生涯教育制度実行委員会
- ・7月、8月分の報告書の確認がなされた。
- ・公益事業なし
- ・学術研究班研修会は、7月分として血液、免疫血清、生理3回、微生物、一般、病理の延べ1083名の参加があった。8月は、血液で123名の参加があった。
- ・初級研修会は、7月が2分野で197名、8月も2分野で延べ198名の参加があった。
- ・自己申告会場研修は、過去月分として5名、7月分として延べ10名、8月分として延べ6名の申請があった。

2) 学会運営部

- (1) 第17回東京都医学検査学会
- ・9月9日に学会企画委員会を開催した。
- ・開催形式は、会場開催のみに決定した。
- ・一般演題は、8月31日に締め切り、29演題の登録があった。学会の事前登録者は現在60名程度。
- ・学会スタッフの振り分けは、Googleドライブにアップしている。内訳としては、支部から15名、研究班から41名、理事から24名、合計80名のスタッフで運営の予定。
- ・今後の予定としては、プログラム集の入稿が今月末、11月1週目に全会員にプログラム集を発送予定。11月中旬にスタッフ全体会議をWebで実施予定。
- ・12月3日の学会前日に参加可能な理事は15時に秋葉原UDXで事前準備を行う予定。
- (2) 学会長推薦委員会
- ・学会長候補者として、三浦ひとみ氏(東京女子医科大学病院)を推薦し、当人からはコアメンバーやテーマ決め等々の準備に入るとの連絡があった。

3) 支部運営

- (1) 都民祭り、健康祭りについて
- ・西支部の稲城市健康祭りに参加し、地域共済事業部で作成した臨床検査技師紹介のパンフレットデータをポスターにして使用したが、大変好況だったとの報告があった。小平市からはまだ連絡が来ていない。
- ・北支部の大新宿区まつりは中止、板橋健康まつりは違う形での開催を検討中。
- ・東支部の江戸川区区民まつりは、昨年度と同様に都臨技の紹介をWebに上げる予定である。江東区のお祭りはまだ連絡が来ていない。
- ・南支部の太田品川健康まつりは中止となった。
- (2) タスク・シフト/シェア講習会について
- ・10月は、10月16日(日)にタスク・シフト/シェア講習会を予定している。
- ・会場は、国立病院機構研修センター(東急田園都市線駒沢大学駅)の予定。
- ・今回は相馬理事を実務責任者としてお願いしており、事前準備は前日(15日の18時以降)に行う予定。各支部2名ずつ、計8名の実務員で運営を行う。
- (2) 選挙管理委員会
- ・報告事項なし。

4) 地域保健共催事業部

- (1) 地域保健共催部会
- ・地域保健共催部会が9月2日に開催された。
- ・検査と健康展の血管年齢の測定機が1台だったが、感染対策等を鑑み、2台で行うことにした。
- ・広報として東京スカイツリータウン周辺地域に折り込み広告等を1万部想定している。
- ・東京スカイツリータウンに提出する運営マニュアルと告知ポスターを作成した。
- ・検査と健康展のスタッフとして、地域保健共催部より8名決定しているが、4名不足している。支部から1名ずつ選出してほしい。北支部は、立候補者ありで、支部長に承諾の有無を確認してもらう予定。スタッフのタイムスケジュール等は、運営マニュアルを参考にしてほしい。事前準備は、前週の11月12日に地域保健共催部会を事務所とWebで行う予定で、日臨技からパンフレット梱包作業等を行うので、可能であれば参加していただきたい。
- (2) STI 予防委員会
- ・9月6日にSTI 予防委員会が開催された。
- ・9月30日に東京電子専門学校でSTI 予防教室を開催予定。担当講師2名、サポートとして幹事2名、計4名で行う予定である。
- (3) フォーラム委員会
- ・8月2日に第1回フォーラム委員会を開催した。
- ・今年度の都民公開講座は、メインタイトルが新型コロナウイルスで、昨年度と同様に動画閲覧形式で企画を行うこととなった。
- ・都臨技HPへの動画掲載は、来年1月～2月を予定しており、今後の計画としては、10月に講師の選定を行い、11月～12月に講師依頼を行う予定である。

・来週、第2回フォーラム委員会を行う予定であり、サブタイトル、公開講座のテーマ決定、講師と広報について審議予定。

(4) 学生対象講演会

・都臨技学会の学生向け企画と一緒に参加する形をとる。教員の立場からとして米谷理事、技師の立場からとしての講演を依頼中である。

(5) 教育施設連絡者会議

・都臨技医学検査学会でプログラムに空きがでたため、施設連絡者会議が出来るか調整中。

5) 会計部

(1) 会計部報告

・2022年7月、8月の収支会計報告がなされた。
・コピー機のリース期間満了に対し、来年度予算で新規契約を検討中である。
・第2四半期の理事行動費請求書を会計部へ提出依頼がなされた。

6) 庶務部

(1) 庶務部報告

・会員数報告がなされた。正会員数 7254 名、賛助会員 67 社、学生会員 7 名、名誉会員 14 名。
・退会 1 社（ミナト医科学株式会社）。
・新入会会員の審議依頼がなされた。
・理事研修会を 10 月 30 日（日）9 時から 12 時に TKP 市ヶ谷カンファレンスセンターで開催予定。
・中間監査の日程を決定する予定。
・賛助会員の申込方法がわかりにくいとの意見があり、申込書を修正する方向で検討する。現在、申込書+会社案内+趣意書が必要であるが、趣意書に記載する内容への問い合わせが多く事務員さんを悩ませている。会社案内だけでは、事業内容が把握しにくい。都臨技に対してどのような関わりを担えるかを示す目的で趣意書の提出をお願いしていたが、趣意書提出で賛助会員の手続きが滞っている事例もあり、検討の余地がある。

(2) 役員候補者選出委員

・報告事項なし

7) 事務局

(1) 事務局報告

・7月、8月事務局報告書の確認がなされた。
・日本ヘルスケアダイバーシティ学会開催の後援名義使用について審議依頼がなされた。
・がんゲノム研究会主催「2022年度Web教育セミナー」後援名義使用について審議依頼がなされた。
・日本臨床化学会関東支部例会の後援名義使用およびHP掲載依頼について審議依頼がなされた。
・東京都輸血療法委員会の後援名義使用について審議依頼がなされた。
・トータル保険サービス アフラックの団体保険の人数未達についての審議依頼がなされた。
・ワクチン接種・検体採取検討会とりまとめ報告の確認依頼がなされた。
・臨床検査普及ポスターを事務所に掲示した。
・「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更に関する周知依頼について」の確認依頼がなされた。
・日臨技の認知症WGより今月はアルツハイマー月間ということでお知らせが来ており、HPにもお知らせを掲載した。
・インボイス制度に関して当会に問い合わせが来ているので対応する。

(2) 表彰選考委員会

・永年幹事、永年会員の表彰式を第17回東京都医学検査学会で行う。
・結核研修奨励賞候補者の推薦について理事会で候補者推薦の依頼を行う。締切は12月2日。
・2022年度、2023年度表彰選考委員会委員長に、委員互選の結果、荒木秀夫委員が選任された。副委員長は、委員長が指名することになっているため、次回までに荒木委員長が指名することになった。
・第2回表彰選考委員会は10月4日、それ以降は第4火曜開催となった。

8) 広報委員会

・7月、8月分の報告書の確認がなされた。

8) 副会長報告

(1) 杉岡副会長

・宮島会長の件について、技師会は政治とは無関係であるので、特定の宗教団体との関係はない。何か問い合わせ等があった場合の窓口は日臨技。

・10月1日～2日第58回関甲信支部首都圏医学検査学会が宇都宮で開催される。参加の呼びかけがあった。
・10月6日～8日に第35回IFBLS世界医学検査学会が韓国で開催される。日臨技の代表として杉岡副会長が参加することとなった。

(2) 中村副会長

・70周年記念誌の進捗状況。支部と編集からの原稿が未着となっている。支部原稿は、支部統括部長への提出は済んでいる。

(3) 米山副会長

・報告事項なし

9) 会長報告

・11月12日に長野県臨床検査技師会主催の人材育成研修会が軽井沢プリンスホテルで開催される。詳細な案内が届き次第、連絡

する。都臨技からは畑田理事、加藤理事、神田理事の3名参加予定。

・新春の集いについては今回も中止。来年度以降は予約も行わない方針とする。コロナ禍で2年行っていないが、表彰式については学会で行っていく方向とする。

10) その他

(1) 遠藤監事より

・インボイス制度についての概略、当会としての対応などについて説明がなされた。当会としては、コロナ禍ということもあり、事業収入（参加費や広告費など）が年間1千万以上になっていないため、納税義務のない免税事業者となっている。免税事業者は、インボイス制度の登録番号取得の必要はない。問い合わせ等があった場合は、当会は免税事業者であり、登録は行っていないと回答する。

(2) 浅野理事より

・各研究班の支部の割振りが分かりにくいので、表にまとめられないかとの提案があり、学術部で支部付きの名簿を作成し、三橋理事へ提出し共有することとなった。

(3) 飛知和理事より

STI 委員会、フォーラム委員会、地域保健共催部でメーリングリストを作成し、情報共有しているが、レスポンスのない委員もいるため、迷惑メールに振り分けられているなど、メールが届いているか確認してもらえよう支部長から各幹事へ連絡してほしい。

3. 審議事項

1) 共催許可願いについて

・臨床化学研究班の共催許可願いについて審議の結果、承認された。

2) 新入会会員について

・一般会員80名（新入会70名、再入会10名）について審議の結果、承認された。

・学生会員7名（新渡戸文化短期大学）について審議の結果、承認された。

3) 地域保健共催事業について

・東京スカイツリータウンへ提出する検査と健康展の運営マニュアルについて審議の結果、承認された。

・臨床検査技師の紹介パンフレットについて審議の結果、承認された。

・検査と健康展の告知ポスターについて審議の結果、承認された。

4) 後援名義使用について

・日本ヘルスケアダイバーシティ学会開催の後援名義使用について審議の結果、承認された。

・がんゲノム研究会主催「2022年度Web教育セミナー」後援名義使用について審議の結果、承認された。

・日本臨床化学会関東支部例会の後援名義使用およびHP掲載依頼について審議の結果、承認された。

・東京都輸血療法委員会の後援名義使用について審議の結果、承認された。

・トータル保険サービス アフラックの団体保険の人数未達について審議の結果、事務局で保険内容を確認してから対応することになった。会員がわかりやすく利用できるよう、リンクを付けるなど行い、LINEでお知らせを行う予定。

5) 中間監査の日程確認

・中間監査を11月11日、18時30分より東京都臨床検査技師会事務所で執り行うこととなった。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し21時00分に解散した。本日のWeb会議システムを併用した理事会は、終始異常なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。

議長
(原田)

原田典明



監事
(高橋)

高橋秀治



監事
(佐野)

佐野和三



監事
(遠藤)

遠藤盛人

